

### 4期生卒塾後の軌跡

われわれ「夢追塾4期生」が卒塾して早いもので2年  
間が過ぎました。卒塾後さまざまなかたちで多くの人  
が活動を展開されており、私は大変頼もしくまたうれし  
く思っております。今回はその活動状況についていくつ  
かご紹介いたします。

専門講座 NPO グループで立ち上げた「き・ず・な」  
は、当初は4期生が中心となって活動していましたが、  
今では4期生以外の多くの期の方々にも参加を頂き、  
多岐にわたって勉強会を含めて活発な活動をしており  
ます。毎年8月に開催されている「笑っちゃらん会」では、  
北九州市を元気な街にするために笑いを提供し元気はつ  
らつ事業の一つとして注目を集めています。介護



長崎県久賀島の旧わらび小学校を訪ねて

福祉士の資格を取り、高齢者への助言や、アドバイスなどコーディネーターとして活躍している方もいます。最近特に問題となっているDVなどの家庭支援として、相談を受け、サポートして、安心してらせる環境づくりに努めている方もいます。さらに、卒塾しても勉強をしたいということで北九州市高齢者研修大学校（穴生学舎・周望学舎）に通っている人、あるいは本年度に再度専門課程に入塾しようとしている方など、本当に新たな意気込みが感じられます。

「夢追塾の若者よ！がんばれ」と強く叫びたいと思います。

(4期生 福内一之)



総会に集う「き・ず・な」のメンバー

### 5期生卒塾後の軌跡

夢追塾5期生は、現在37人が同窓会活動に参加しています。

夢語りで発表したことを実行に移している方が多く、音楽演奏活動2人（ショッパーズ、サウンド幸の音）、木工を通じての青少年育成支援2人のうちの1人は今年5月に立ち上げ予定、もう1人は7月立ち上げを目標に準備中です。弱者地域支援活動3人（元気悠遊の里、北九州ホスピスの会、NPOアムール）、北九州市の事業としてベトナムハイフォン市の中小企業の工場合理化支援事業への協力で工場合理化アドバイザーをボランティアで務めている人などもあります。また、自分で事業を立ち上げていなくてもほとんどの人がボランティアで他の方の支援に参加されています。

同期での勉強会「五僚会」も立ち上がり、ブータンのGNH（国民総幸福度）の勉強会をしようという提案や原発勉強会の企画もあり、活動の輪は広がっています。

(5期生 西尾勝)



畑キャンプセンターでの五僚会懇親会



かつほ酒と串焼きでご満悦



## 「夢追いサミット」の開催に向けて

中高年市民の活性化を政策基盤に据える北九州市の夢追塾事業の先進性、継続性を勘案すると、同様の都市型地域特性を有する政令指定都市との交流を図り、超高齢社会を迎えた都市型地域社会の活性化を図るため、地域社会に内在する問題把握や問題解決策の知恵、知識などを共有化し、地域活動に有効活用すべきものと考えられます。

同窓会としては、昨年11月の「夢追い夢語り」のイベントに止まらず、夢追塾そのものを先駆的事业として他都市に向けて発信すべきものと考え、平成25年の年初に“市制50周年記念事業”として『生涯現役・夢追いサミット』を開催する提案をしています。

先般の「夢追い夢語り」は、『夢追いサミット』を定期化するための前哨戦であり、夢追塾同窓会の情報発信力・集積力を持続的に強化する取り組みの第一歩であったと捉え、本委員会が組織化されました。委員会では、他都市に対しても普遍性の高い共通性のある市民活性化の方途を探るために卒塾生の活動内容について再吟味し、諸活動の持続可能性、有効性、地域貢献性、発展性、活動間の有機的連携力向上などの視点から『夢追いサミット』の開催を来年2月下旬に予定しています。(夢追いサミット企画推進委員長 1期生 舟谷文男)

## 6期生卒塾式

6期生の卒塾式が3月10日(土)、北九州国際会議場で行われました。6期生45人(NPOコース7人、コーチングコース18人、コミュニティビジネスコース16人、起業独立コース10人)を代表して西輝子さんが「東日本大震災が起きたその年に夢追塾で学べたことは、本当に意味深いものであったと改めて感じています。夢追塾での多くの仲間との出会いに感謝し、人とのつながりを生かしてこれからの人生を生きがいをもって歩いていきたいと思っております」と謝辞を述べられました。6期生の卒塾後の活躍を期待しています。



謝辞を述べる卒塾生代表の西さん

## 赤村塾からのご案内

赤村塾は、古民家で「囲炉裏」「かまど」「火鉢」など日本古来の伝統を思い起こす設備を使用して学び・創り・楽しむをモットーに交流や仲間づくりの場所として活用いただいています。今後は赤村とのコラボ催事を開催する予定です。近々では「神幸祭」「蛍観賞会」「Doo-Yoo農」など、これらの行事にグループで参加して、田舎体験や仲間づくりの懇親会を持ちませんか。各催事の具体的日程は、都度、お知らせいたします。

(1期生 近藤誠志)



夜更けまで続いた囲炉裏を囲んでの語らい

## トピックス

### ★第4回「笑っちゃらん会」 (4期生 佐田智彦)

8月18日(土)は日本最高の笑いイベントが開催されます。当日はお米の日とも言われます。お米を分解すると「八十八」となります。正にメンバーは「氣」を込めて運営に当たります。笑うから人が集まる!笑うから運がいい!笑うから最高人生!

### ★韓国慶州さくらウォークに参加 (3期生 坂本博子)

みよし会では平成23年4月例会として健康ウォーキング講座を開催し、その後月1回穴生ドームでウォーキングを続けてきました。今年4月は慶州さくらウォーク10kmと5kmに16人で参加しました。桜はまだピンクの蕾でしたが、赤ジャンパーを着て増田明美さんと歩きました。

### ★琴の音色に魅せられて (2期生 河原富士江)

昨年秋の「夢追い夢語り」の会場で琴の音色を通して地域で社会貢献をしたいという“音つむぎ”のお二人に出会いました。今年から“音つむぎ”の折本洋子さん(5期生)に週一回琴を習っています。皆さまと一緒にボランティア活動ができればと思っています。

### ★五僚会活動について (5期生 山地博)

平成22年8月夢追塾帰りのJR折尾駅利用者5名で発足した懇親会(旧折尾会)を発展させ、卒塾後の自分たちの夢、5期生の夢の実現の相互支援及び研修を行うことを目的とした五僚会(5期の同僚)を平成23年11月より定期開催(1回/月)。現状会員19人で活動中です。

## 編集後記

平成23年度の会報委員でお届けする最後の同窓会会報です。同窓会会員の情報交流の場になればとの思いで会報を作ってきましたが、いかがでしたか?次号からは平成24年度会報委員に引き継ぎます。1年間ありがとうございました。

23年度会報委員:佐藤健一(1期)篠原昌子(2期)貞光文江(委員長、3期)高和美(4期)廣瀬良子(5期)